

## 「親と子学び育ちの会まねき neko について」 2025

親と子学び育ちの会まねき neko は、「地域に理解者を増やしたい、にぎわいからこぼれる子どもをなくしたい」という思いで、2016年4月にお母さんたちが立ち上げた子育てサークル団体です。

その子らしさ、その人らしさを大切に、人を呼び・仲間を呼び、新しい情報を取り入れ時代の変化に馴染みながら、陽だまりの中でくつろぐ猫のように安心して暮らせる地域をつくりたいという思いを込めて「親と子学び育ちの会 まねきネコ」と名付けました。

\* まねきネコの表示が変更された経緯は上伊那要約筆記「まねきネコ」とかぶっていたため表記をカタカナ「ネコ」からローマ字の「neko」へ変更しました

親と子学び育ちの会まねき neko（通称-まねき neko）は、「当該児・者」「保護者」「支援者」「有識者」が集い「こどもの居場所」「学びの場・交流会」を通し、彩のあるやさしい未来をつくるために「こども未来応援事業」「信州こどもカフェ」「障がい児・者理解促進事業」を行なっています。

「こども未来応援事業」「こどもカフェ」は、全国的に こどもを中心にしつつも全世代型の交流を目指しているところが多く、どの様なお子さんでも こどもの育ちには多様な大人の関わりが重要という点では多世代交流の居場所が、彩のあるやさしい未来を作ると考えております。

居場所に集まる方を無理に整理しようとするれば、かえって混乱が深まります。多様性を尊重しつつ、関わるこども・大人たちが大事にしている想いを、くみ取り活動に活かしていきたいと思っております。

また「障がい児・者理解促進事業」は長野県障がい者共生条例（障がいのある人もない人も共に生きる長野県条例）に沿って県が実施する ながの発達障害啓発週間「結」プロジェクトに参加し、幼少期に必要とされる適切な支援や 当該児・者の自立と社会参加の機会、社会的障壁を取り除く取り組みの紹介を行っています。 設立当初の保護者の願いである「地域に理解者を増やしたい」という点では、常に新しい情報を取り入れ、時代の変化に取り残されないように、当該児・者及び保護者（養育者）と支援者が研修を通して正しく理解し、必要なサポートを地域に発信できるように創意工夫を行って参ります。



多世代交流の場 みんなの居場所「結の家」通称 ゆいちゃんち